

YYSystem 利用規約 無料版（アカウント登録なし）

この利用規約（以下、「本規約」といいます。）は、株式会社アイシン（以下、「当社」といいます。）が提供するサービス（以下、「本サービス」といいます。）の利用条件を定めるものです。登録ユーザーの皆さま（以下、「ユーザー」といいます。）には、本規約に従って、本サービスをご利用いただきます。

第1条（適用）

1. 本規約は、株式会社アイシン（以下、「当社」といいます。）が提供する YYSystem のアプリ（以下、「本サービス」といいます。）のユーザーと当社との間の、本サービスに関する一切の事項に適用されるものとします。
2. 当社は本サービスに関し、本規約のほか、ご利用にあたってのルール等、各種の定め（以下、「個別規定」といいます。）を設けることがあります。個別規定は、その名称のいかんに関わらず、本サービスに関するウェブサイト（以下、「本ウェブサイト」といいます。）上にて公表され、当該公表のときから本規約の一部を構成するものとします。
3. 本規約の規定が個別規定の規定と矛盾する場合には、個別規定において特段の定めなき限り、個別規定の規定が優先されるものとします。

第2条（利用登録）

1. 本サービスの利用にあたって本約款のすべての内容を確認してください。
2. 本サービスの利用者（以下、「ユーザー」）は本規約に同意したものとみなします。本規約は民法548条の2が定める定型約款に該当し、ユーザーは本サービス上において、本規約を利用契約（次項において定義される。）の内容とする旨を同意したときに、本規約の個別の条項についても同意したものとみなされます。

第3条（サービスの内容）

1. 本サービスは次の各号に掲げるソフトウェアを示します。詳細については、本ウェブサイトに記載するものとします。
 - (1) アプリケーションダウンロードサービス等からダウンロードの上、利用可能なソフトウェア
 - (2) <https://www.yysystem.com/> からダウンロードの上、利用可能なソフトウェア

第4条（保守）

1. ユーザーは、本サービスにかかる次の各号のサポートを無償で受けることができます。
 - (1)バグ、不具合の修補
 - (2)問い合わせ対応
 - (3)アップデート
2. 前項のサポートは、当社の稼働日・稼働時間内に限り、当社よりユーザーへ提供されます。

第5条（禁止事項）

ユーザーは、本サービスの利用にあたり、次の各号の行為をしてはなりません。当社は、ユーザーが以下の行為を行っているときは、直ちに事前の通知なく本サービスの提供を停止することができるものとします。

- (1) 法令、公序良俗または本規約に違反する行為
- (2) 犯罪に関連する行為
- (3) 本サービスの内容等、本サービスに関する特許権、著作権、商標権その他の知的財産権を侵害する行為
- (4) 当社、他の本サービスのユーザー（以下、「他のユーザー」といいます。）、または第三者のサーバーまたはネットワークの機能を破壊したり、妨害したりする行為
- (5) 本サービスの全部または一部の複製・改変・編集・消去・他のプログラム等との結合・リバースエンジニアリング・逆アセンブル・逆コンパイル等またはミラーサイト構築等の行為
- (6) クローリング（クローラ、ロボットおよびスパイダー等のプログラム）またはその他の類似の手段によって本サービスにアクセスし、本サービスに関する情報を取得する行為
- (7) 本サービスによって得られた情報を商業的に利用する行為
- (8) 本サービスまたは当社の他のサービスの運営を妨害するおそれのある行為
- (9) 本サービスに不正アクセスをし、またはこれを試みる行為
- (10) 他のユーザーに関する個人情報等を収集または蓄積する行為
- (11) 不正な目的を持って本サービスを利用する行為
- (12) 当社、他のユーザーまたは第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- (13) 他のユーザーを含む第三者に成りすます行為
- (14) 当社が許諾しない本サービス上での宣伝、広告、勧誘、または営業行為
- (15) 面識のない異性との出会いを目的とした行為

(16) 本サービスに関連して、反社会的勢力に対して直接または間接に利益を供与する行為

(17) その他、当社が不適切と判断する行為

第6条（権利義務の譲渡の禁止）

ユーザーは、当社の書面による事前の承諾なく、本規約上の地位または本規約に基づく権利もしくは義務の全部または一部を第三者に譲渡し、または担保に供することはできません。

第7条（本サービスの提供の停止等）

当社は、次の各号のいずれかの事由があると判断した場合、ユーザーに事前に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を停止、中断または中止することができるものとします。

- (1) 本サービスにかかるコンピュータシステムの保守点検または更新を行う場合
- (2) 地震、落雷などの天災、地変、火災、停電、ストライキ、通商停止、戦争、内乱、疫病・感染症の流行などの不可抗力により、本サービスの提供が困難となった場合
- (3) コンピュータまたは通信回線等が事故により停止した場合
- (4) その他、当社が本サービスの提供が困難または本サービスの停止、中断もしくは中止が必要と判断した場合

第8条（保証の否認および免責事項）

1. 当社は、次の各号の事項について、一切の保証をしません。
 - (1) 本サービスの安全性、信頼性、正確性、完全性、有効性、特定の目的への適合性
 - (2) 本サービスに欠陥、エラーやバグ、権利侵害、中断、中止その他の障害がないこと
2. 当社は、次の各号について、一切の責任を負いません。
 - (1) 第4条（保守）によるユーザーに生じた損害
 - (2) 第8条（本サービスの提供の停止等）により、ユーザーまたは第三者に生じた不利益または損害
 - (3) 予期しない不正アクセス等の行為によりユーザーまたは第三者に生じた損害
 - (4) 本サービスの利用に関連してユーザーが日本または外国の法令に触れたことによりユーザーまたは第三者に生じた損害
 - (5) 天災、地変、火災、ストライキ、通商停止、戦争、内乱、疫病・感染症の流行その他

の不可抗力により本契約の全部または一部に不履行が発生した場合、ユーザーまたは第三者に生じた損害

- (6) ユーザーと第三者（他のユーザーを含む）との間で生じた取引、連絡、トラブルまたは紛争等（本サービス内外を問いません。）およびこれによりユーザーまたは第三者に生じた損害
- (7) 第 10 条（利用制限および登録抹消）に基づき当社が行った行為によりユーザーまたは第三者に生じた損害
- (8) 第 14 条（サービス内容の変更等）によりユーザーに生じた損害
- (9) 第 20 条（通知または連絡）第 2 項を怠ったことによってユーザーまたは第三者に生じた損害
- (10) 第 22 条（第三者サービスの利用）によりユーザーに生じた損害
- (11) その他、本サービスに起因してユーザーまたは第三者に生じたあらゆる損害

- 3. 前項にかかわらず、本サービスに関する当社とユーザーとの間の契約（本規約を含みます。）が消費者契約法に定める消費者契約に該当する場合であって、当社の故意または重大な過失による債務不履行または不法行為によりユーザーに生じた通常の損害（特別損害、逸失利益、間接損害および弁護士費用を除く。）については、法律に基づく責任を負います。

第 9 条（損害賠償責任）

ユーザーは、本規約の違反または本サービスの利用に関連して当社に損害を与えた場合、当社に発生した損害を賠償します。

第 10 条（サービス内容の変更等）

- 1. 当社は、ユーザーへ事前に通知することなく、いつでも本サービスの内容の全部または一部を変更、追加または終了（以下、「本サービスの変更等」といいます。）することができるものとします。
- 2. 当社は、本サービスの変更等を行った場合は、すみやかにユーザーへの通知または本ウェブサイト上への表示によりユーザーに周知します。
- 3. 本サービスの変更等は、それ以前の本サービスの機能・性能・品質が維持されることを保証するものではありません。

第 11 条（利用規約の変更）

- 1. 当社は、次の各号の場合に当社の裁量により本規約の全部または一部を変更すること

ができるものとします。

- (1) 本規約の変更が、ユーザーの一般の利益に適合する場合
 - (2) 本規約の変更が、利用契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものである場合
2. 当社は、本規約の変更を行う場合は、変更後の本規約の効力発生日の前に相当な期間をもって、本規約を変更する旨及び変更後の本規約の内容とその効力発生日をユーザーへの通知または本ウェブサイト上への表示によりユーザーに周知します。
 3. 当社がユーザーに変更後の本規約の内容を通知し、変更後の本規約の効力発生日以降本サービスを利用した場合または当社が指定する期間内にユーザーが退会の手続きをとらなかった場合は、当該ユーザーは変更後の本規約に同意したものとみなします。

第 12 条（個人情報の取扱い）

当社は、本サービスの利用によって取得する個人情報については、当社の「プライバシーポリシー」に従い適切に取り扱うものとします。

第 13 条（取得データの取扱い）

1. 当社は、本サービスを通じてユーザーの個人情報を取得することはありません。
2. サービス提供上必要な以下のデータは、当社および提携するクラウドサービスへアップロードします。
 - (1) 音声認識で利用する音声データ
音声データは Microsoft 社の Azure サービスを利用します。音声はメモリ上で処理され使用後、破棄されます。データの再利用などは行われません。
 - (2) 利用時間や利用履歴などの管理データ
アプリケーションの起動履歴や利用時間等の管理上必要なデータ

第 14 条（秘密保持）

1. ユーザーは、本サービスの利用に関して知り得た当社の秘密情報（本サービスに関するノウハウや技術上または営業上の一切の秘密情報を含みます。）を、秘密として厳重かつ適正に管理するものとし、当社の事前の書面による同意なく第三者に開示、提供および漏洩しないものとします。
2. ユーザーは、当社の指示があった場合または退会した場合は、直ちに秘密情報を返却ま

たは廃棄し、以後使用しないものとします。

第 15 条（権利の帰属）

1. ユーザーは、方法または形態の如何を問わず、本サービスにおいて当社から提供される全ての情報およびコンテンツ（以下総称して「本コンテンツ」といいます。）を著作権法に定める、私的使用の範囲を超えて複製、転載、公衆送信、改変その他の利用をすることはできません。
2. 本コンテンツに関する著作権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権その他一切の知的財産権およびこれらの権利の登録を受ける権利（以下総称して「知的財産権」といいます。）は、当社または当社がライセンスを受けているライセンサーに帰属し、ユーザーには帰属しません。
3. ユーザーが本条の規定に違反して問題が発生した場合、ユーザーは、自己の費用と責任において当該問題を解決するとともに、当社に何らの不利益、負担または損害を与えないよう適切な措置を講じなければなりません。また、ユーザーは、当該問題により当社に損害が発生した場合、当該損害を賠償するものとします。

第 16 条（通知または連絡）

1. ユーザーと当社との間の通知または連絡は、別途当社の定める方法によって行うものとします。
2. ユーザーは、登録情報に変更が発生した場合は直ちに当社が別途定める方式に従った変更手続きを行うものとします。
3. 当社は、ユーザーから、前項の変更手続きが行われていない限り、その時点の登録情報が有効なものとみなして、登録情報に基づき通知または連絡を行います。当該通知または連絡は、当社からの発信によってその効力が生じるものとします。
4. 当社は、本サービスに関するユーザーからのお問い合わせに対して回答するよう努めますが、法令または本規約上、当社に義務が発生する場合を除き、回答する義務を負いません。
5. 当社は、ユーザーからのお問い合わせに回答するか否かの基準を開示する義務を負いません。

第 17 条（反社会的勢力の排除）

1. ユーザーは、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下総称して「反社会的勢力」といいます。）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約します。
 - (1)反社会的勢力が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - (2)反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - (3)自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってする等、不当に反社会的勢力を利用していると認められる関係を有すること
 - (4)反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与する等の関与をしていると認められる関係を有すること
 - (5)役員または経営に実質的に関与している者が反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有すること
2. ユーザーは、自らまたは第三者を利用して次の各号のいずれにも該当する行為を行わないことを確約します。
 - (1)暴力的な要求行為
 - (2)法的な責任を超えた不当な要求行為
 - (3)取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - (4)風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて相手方の信用を毀損し、または相手方の業務を妨害する行為
 - (5)その他前各号に準ずる行為
3. 当社は、ユーザーが反社会的勢力もしくは第 1 項各号のいずれかに該当し、もしくは前項各号のいずれかに該当する行為をし、または第 1 項の規定にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、自己の責に帰すべき事由の有無を問わず、ユーザーに対して何らの催告をすることなく本契約を解除することができます。
4. ユーザーは、前項により当社が本契約を解除した場合、ユーザーに損害が生じたとしてもこれを一切賠償する責任はないことを確認し、これを了承します。

第 18 条（第三者サービスの利用）

本サービスを利用するにあたり、ユーザーが第三者の提供するサービス（以下「第三者サー

ビス」といいます。)を利用する場合、本規約に加えて、当該第三者サービスの利用規約、その他規約等を遵守するものとします。

第 19 条 (料金の支払い)

本サービスのコンテンツは無料または有料で取得できます。いずれの場合も、コンテンツの取得のことを「取引」といいます。ユーザーは、あらゆる有料の取引（適用される税金を含む）について、当社の指定する方法に従って支払うものとします。

第 20 条 (サブスクリプション)

本サービスおよび特定のアプリでは、サブスクリプションベースでコンテンツや本サービスへのアクセスを購入できる場合があります(以下「有料サブスクリプション」といいます)。有料サブスクリプションは、Apple のアカウント設定の「サブスクリプション」セクションで解約しない限り、自動的に更新されます。

サブスクリプションの解約について詳しくは、<https://support.apple.com/HT202039> を参照してください。

有料サブスクリプションの価格が上がった場合はユーザーに通知され、必要な場合には、継続に際してユーザーの同意が必要となります。

最新の有料サブスクリプション期間が始まる 24 時間前までに請求が行われます。

何らかの理由（有効期限切れや残高不足など）でユーザーのお支払い方法に請求できず、ユーザーが有料サブスクリプションを解約していない場合、ユーザーは未収金全額について引き続き責任を負うものとし、Apple は支払い方法の情報が更新された際に、そのお支払い方法に基づいて再請求を試みます。

これにより、ユーザーの次の有料サブスクリプション期間の開始日が変わり、各期間の請求日が変更される場合がありますが、これはユーザーの領収書に表示されます。

サブスクリプションを更新するための料金について、ユーザーのお支払い方法で請求を完了できない場合、ユーザーの有料サブスクリプションを解約する権利を留保します。

本サービスまたはコンテンツの有料サブスクリプション期間が終了した時点で、ユーザーは、有料サブスクリプションを必要とする当該本サービスの機能やコンテンツにアクセスできなくなります。

第 21 条 (準拠法・裁判管轄)

1. 本規約は、日本法を準拠法とします。
2. 本サービスに関して紛争が生じた場合には、当社の本店所在地を管轄する裁判所を専属的合意管轄とします。

附則

本規約は、2024 年 1 月 1 日から実施します。

附則

本規約は、2025 年 2 月 5 日に改訂し、2025 年 2 月 10 日に実施します。